

内視鏡検査部のご紹介

内視鏡検査課長補佐
内視鏡検査技師
池上 慎一
Shinichi Ikegami

平素より大変お世話になっております。

当院内視鏡室では、医師会会員の先生方に安心して患者様をご紹介いただけるよう、迅速かつ質の高い内視鏡検査・治療の提供に努めております。今回は内視鏡室の特色についてご紹介させていただきます。

当院内視鏡室の特色

■ 24 時間体制で緊急内視鏡検査に対応

夜間・休日を含め、担当医と内視鏡技師によるオンコール体制を整備し、消化管出血などの緊急症例に対して 24 時間 365 日対応しております。緊急内視鏡検査・治療が必要な患者様を安全かつ迅速に受け入れられる体制を構築しております。

■ 内視鏡検査・治療の先進的取り組み

消化器内科では ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）や膵胆管系疾患に対する内視鏡治療、呼吸器内科では癌性気道狭窄に対する気管支鏡下インターベンションなど、高度な内視鏡治療を積極的に実施しています。

■ チームで取り組む内視鏡診療

消化器内科・呼吸器内科医師、看護部、内視鏡技師が連携し、多職種チームとして内視鏡診療を行っています。高度化する内視鏡治療への対応に加え、機器管理や医療安全の徹底を図り、安心して質の高い内視鏡医療の提供に努めています。

医師会会員の先生方との連携を大切に

「紹介しやすい内視鏡室」を目指し、迅速な受け入れと丁寧な検査・結果報告を心掛けております。今後も先生方との連携を大切にし、日常診療のお役に立てるよう努めてまいりますので、内視鏡検査や治療が必要な患者様がおられましたら、ぜひ当院をご活用ください。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／ 2026 年 8 月 24 日（月） 19：00 ～ 20：00

形式／ハイブリッド方式 オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加：ZOOM 会場参加：新館 6 階ホール

申込方法

kumamotochiiki@gmail.com（※1）までメールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。（後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。）



（※1）メール作成用 QR コード

特別講演

『新ガイドライン「肝硬変診療ガイドライン 2026」
「MASLD 診療ガイドライン 2026」を読み解く』
CC「77」：「慢性疾患・複合疾患の管理」

消化器内科 亀嶋 晴紀 医師

Kumamoto Regional Medical Center



熊本市医師会
熊本地域医療センター

〒860-0811 熊本市中央区本荘 5 丁目16番10号
TEL 096-363-3311 FAX 096-362-0222
https://krmc.city.kumamoto.med.or.jp/



◆ 紹介や転院調整 ◆
090-2964-0600



◆ 外来の予約 ◆
090-9472-1177



◆ 検査の予約 ◆
096-366-1323

Kumamoto
Regional
Medical Center

熊本地域医療センターだより

Nerus

2026.08

Vol.255

TOPICS ▶ 消化器内科の内視鏡治療 ～症例：肛門管癌の ESD～

基本理念：かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。そんな病院をめざし、地域社会に貢献します。



TOPIC
消化器内科の内視鏡治療
 — 症例：肛門管癌の ESD —

当院の消化器内科の特徴は、病院規模からしても内視鏡関連の検査・治療が多いことです。それを支えていただいているのが、消化器内視鏡技師の存在であり、当院には6名在籍し、この数は県下有数と思われます。内視鏡技師も待機制を導入しており、このことによって、緊急内視鏡治療が必要な場面においても円滑な運営が行えており、非常にありがたい環境と感じています。



消化器内科部長
岩下 博文
 Hirofumi Iwashita

- ・日本内科学会（認定内科医）
- ・日本消化器病学会（専門医）
- ・日本肝臓学会（肝臓専門医）
- ・日本消化器内視鏡学会（専門医）

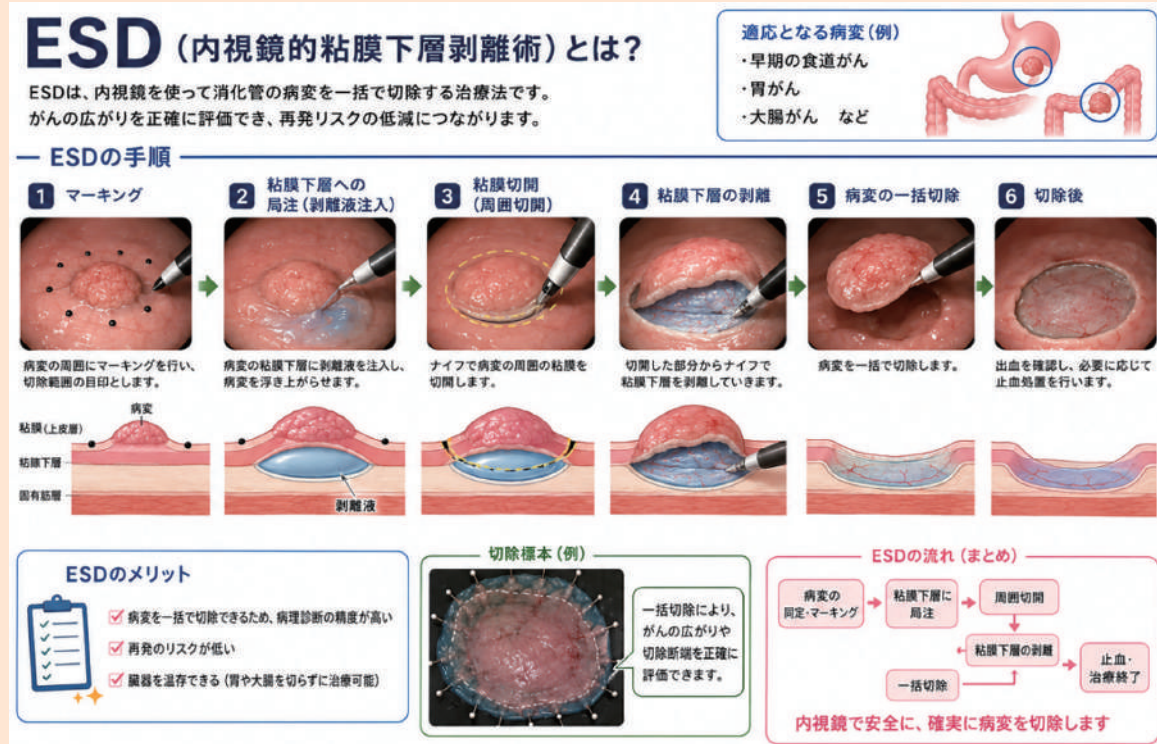


図1

ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）は、早期の癌や前癌病変を、お腹を切らずに内視鏡で一括切除する治療法です（図1）。特に、早期胃癌、早期食道癌、早期大腸癌などに対して広く行われています。当科では高難易度のESDにも（昨年度から赴任した脇医師を中心として）積極的に取り組んでいます。

症例：80歳代女性

近医で行われた下部内視鏡検査で肛門管癌の疑いあり、精査目的のため当科に紹介受診。肛門～直腸 Rb にかけての扁平上皮癌の診断で ESD を施行。病変は全周近くに及んでおり、一括で全周切除を完遂した（脇医師施行）。（図2）

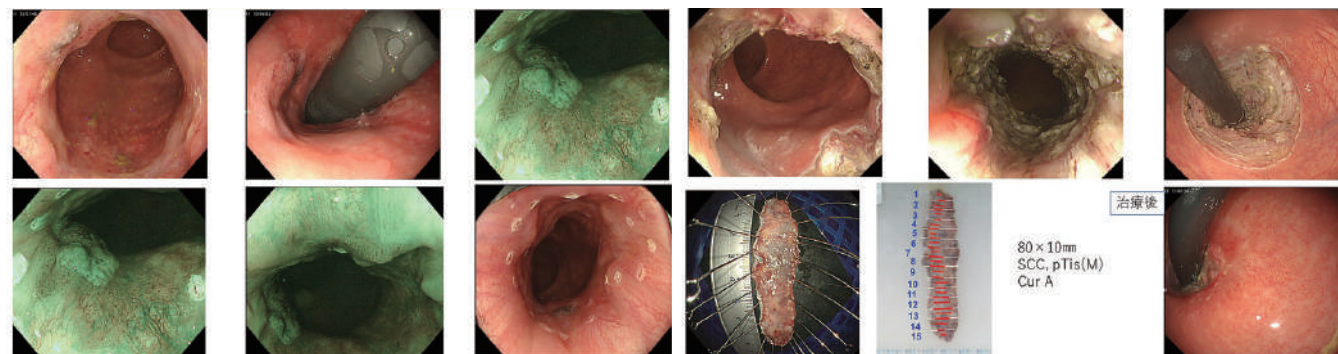


図2 ESD 症例（肛門部）：80代女性

当科の R7 年度入院患者は 1,438 名でした（表1）。

R7 年度の主な消化器内視鏡関連検査・治療実績を提示します（表2）。

表1 R7 年度 入院患者

大腸ポリープ切除	408
胆石胆嚢炎・胆管炎	149
腸炎（炎症性腸疾患含む）	100
大腸がん	100
吐血（胃潰瘍、大腸憩室出血など）	183
脾臓がん	61
胃がん（ESD 含む）	62
肝炎	66
イレウス	63
脾炎	60
肝臓がん	39
食道がん	31
胆のうがん・胆管がん	44
その他の消化器疾患	72
合計	1,438

表2 R7 年度 消化器内視鏡検査・治療実績

上部内視鏡検査	2,589
下部内視鏡検査	2,076
内視鏡的逆行性胆 H 草管造影検査（ERCP）	338
超音波内視鏡検査（EUS）	243
内視鏡的乳頭切開（EST）・バルーン拡張術（EPBD）	157
内視鏡的胆道ドレナージ術	302
超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）	35
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	98（食道 20・胃 41・大腸 37）
内視鏡的上部消化管粘膜切除術（EMR）	16
内視鏡的大腸粘膜切除術（UEMR・CSP 等）	461
消化管メタリックステント留置術	59（上部 9・下部 18・胆管 32）
内視鏡的消化管拡張術	34
内視鏡的消化管止血術	85
内視鏡的異物除去術	15
内視鏡的胃瘻造設術（PEG）	19



今後とも地域医療センター
 消化器内科を
 よろしくお願いいたします。

